

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第107号 令和7(2025)年5月14日発行



子どもが安心して学ぶことができるように

大型連休も終わり、子どもたちは学校生活に慣れてくる一方で、心身の疲れが出たり、連休明けの登校に不安を感じたりしているかもしれません。このような時期だからこそ、まずは次の2点について日頃のかかわりを振り返ってみましょう。

☑ 子どもの**ありのまま**を受け止める

〈かかわりの例〉

- ・他の子との比較ではなく、その子自身の成長に目を向ける
- ・その子の思いや願いなどをわかろうとしながら話を最後まできく
- ・一人一人が大切な存在であるというメッセージを伝える

I'm OK!



☑ 子どもが**失敗しても大丈夫**と思える雰囲気をつくる

〈かかわりの例〉

- ・「授業は失敗できる場」というメッセージを伝え、そのための約束事を共有する
- ・子どもが失敗したときや困っているとき等に適切にフォローする



このようなかかわりにより、子どもが自分らしくいられたり、自分の考えや気持ちを表現しやすくなったりすると、学校生活の中で安心して学ぶことができるようになっていきます。

参考： [子どもの自信を育む教師のかかわり 令和7\(2025\)年3月](#)

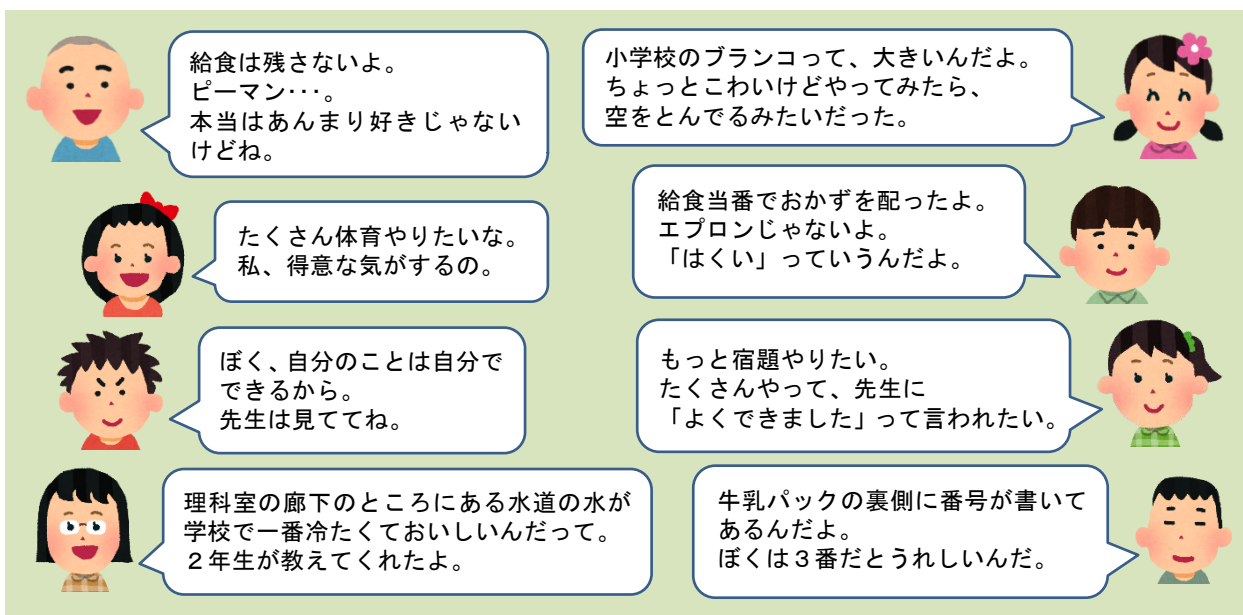
[全ての子どもが授業に参加できるように～子どもが安心して学べるような教師のかかわり～令和5\(2023\)年3月](#)

*総合教育センターでは、子どもや保護者、先生方からの相談を受け付けています。学校や家庭で気になる様子などみられましたら、どうぞご利用ください。

【問合せ先】教育相談部 (Tel 028-665-7211)

架け橋期の子どもたち

新学期が始まり、小学校1年生も入学してから1か月が過ぎました。「早く小学生になりたい！」「できる！」「やりたい！」と楽しみにしてきた小学校生活、1年生の子どもたちはどのように過ごしていますか。



1年生の教室では、このような声が飛び交っているのではないのでしょうか。

「架け橋期」とは、義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間であり、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期です。5歳児は、それまでの経験を生かしながら新たな課題を発見し、新しい方法を考えたり試したりして実現しようとしていく時期であり、小学校1年生は、自分の好きなことや得意なことが分かってくる中で、それ以降の学びや生活へと発展していく力を身に付ける時期になります。

小学校1年生は、心と体を一体的に働かせて学ぶという特性をもっており、遊びながら学ぶ幼児期の学び方とつながっています。幼児期における遊びを通しての総合的な学びから、主体的に自己を発揮しながら自覚的な学びに向かうことが可能となるような指導の工夫が必要です。そこで低学年における教育の中心となる教科が生活科です。子どもの思いや願いを生かして学習活動を展開する生活科は、教科等間の横のつながりと幼児教育と小学校教育の縦のつながりとの結節点となります。生活科を核として、「どうしようか？」「どうしたい？」と子どもたちの声を聴き、一緒に楽しみながら生活や学びを豊かにしていくことを願っています。



生活科を核として、学びを豊かにするポイント

○思いや願いを生かした学習活動を構成する。

- ・生活の中で見つけた疑問を解決したり、子どもの思いや願いを実現したりすることで学ぶことへの意欲を高めていきましょう。

○体験をきっかけにして、各教科等につなげる。

- ・具体的な体験を通して、見付けたり、遊んだり、不思議だなと感じたり、やってみたいなど思ったことが、「話したい」「伝えたい」という気持ちにつながります。

○生活上必要な習慣や技能が身に付くように指導する。

- ・生活上必要な習慣や技能は、思いや願いを実現する過程において身に付いていくものであり、取り出して指導するものではありません。

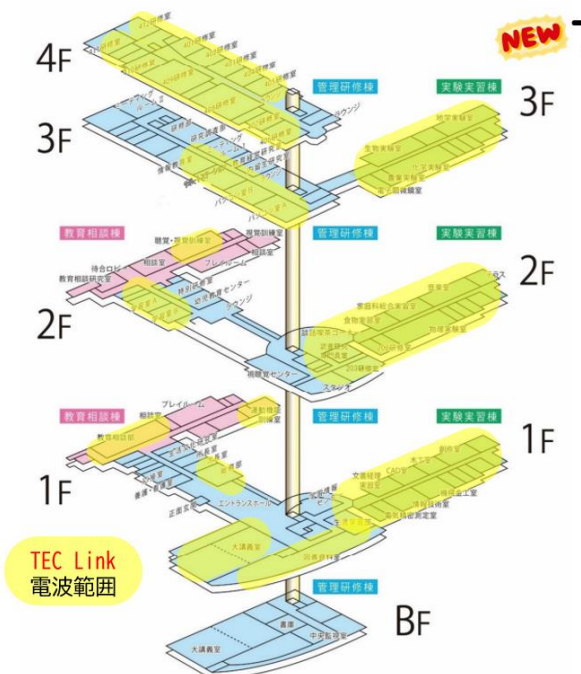
参考資料：「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」令和4年3月31日 文部科学省

「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 編著

【問合せ先】 幼児教育部（TEL 028-665-7215）

来所者用 Wi-Fi 整備と研修の充実に向けた取組

令和6（2024）年度の機器更新に伴い、来所者（研修受講者、生涯学習施設利用者）の皆様が利用できるWi-Fi環境「**TEC Link (Tochigi Education Center Link)**」を整備致しました。これにより、来所者が持参した端末を活用した研修や情報共有が行えるようになりました。



NEW TEC Link (研修受講者用Wi-Fi)

持参した端末を、インターネットに接続できるようになりました

○義務・幼児教育・一般

SSID : GuestWiFi

パスワード：毎月変更

○県立学校

→ 設定不要で利用可能（県統一設定）

【利用可能な端末の種類】

○教職員研修の受講者

各学校において授業用端末として利用し、校外への持ち出しを所属長より許可されているもの（ただし、校務等のネットワークに日常的に接続している端末は不可とする）

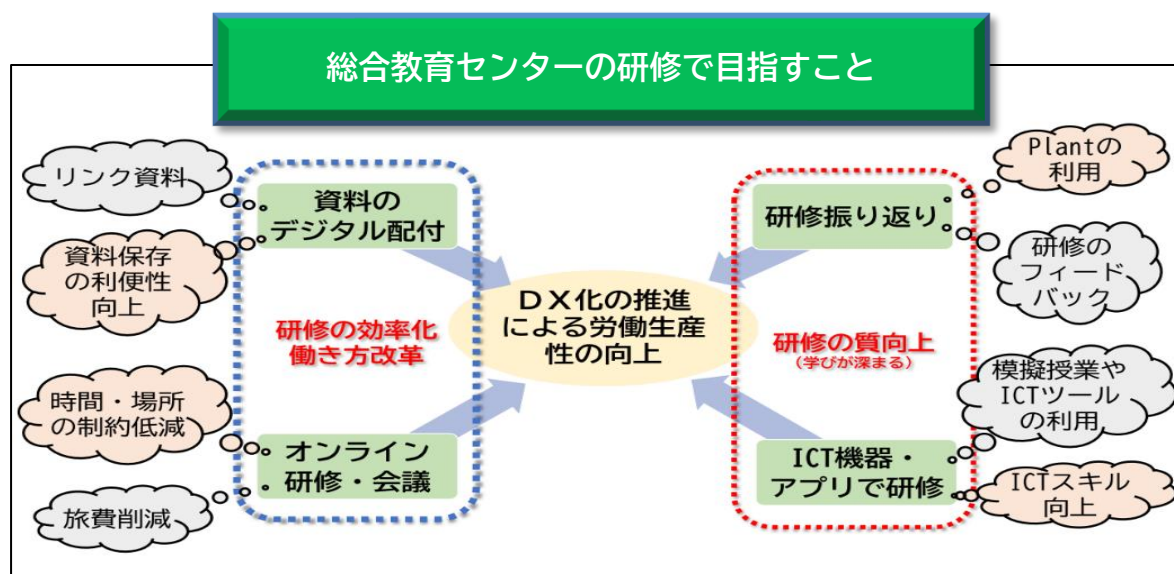
研修実施要項等に表示



「TEC Link」利用に関する規定（栃木県総合教育センター）

各種研修等のお知らせにおいて、端末持参の連絡をさせていただいた際には、「[TEC Link 利用に関する規定](#)」と、「各自治体の運用方針」を確認し、可能な範囲で御対応願います。

なお、校外への端末の持ち出し、校外におけるインターネット接続、Plant 利用のためのメールに関するルール等については、「各自治体の運用方針」で規定されているケース等も想定されますので、各自治体と連携しながら対応を進めてまいります。



当センターでは、来所者の皆様が充実した学びを得られるよう、今後、研修資料のデジタル化やICT機器やソフトウェアを活用した研修の実施など、研修の質向上と効率化を目指した取組を進めてまいります。

【問合せ先】研究調査部（Tel 028-665-7204）

生涯学習部では、高校生や大学生などの青少年を対象とした研修を行っています。今年度は夏と秋の2回、実際に地域でのボランティア活動に参加し、地域活動について学びます。現在、大変多くの方から受講希望の申し込みをいただいております。詳しい情報は、Webサイト「とちぎレインボーネット」に掲載しています。生涯学習部では研修だけでなく、ボランティアに関する相談も行っています。ぜひ「とちぎレインボーネット」をインターネットで検索してみてください。

- このセミナーではボランティア活動について 1 から 10 まで実践しながら学ぶことができます！**



【問合せ先】 生涯学習部 (TEL028-665-7206)